

**一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会**  
**第 56 回 原子燃料サイクル専門部会 議事録**

1. 日時 2013 年 9 月 12 日 (木) 13:30 ~ 15:10
2. 場所 5 東洋海事ビル A+B 会議室
3. 出席者 (順不同, 敬称略)  
(出席委員) 有富部会長, 河西副部会長, 内山, 大久保, 小畑, 金木, 木倉, 坂下, 仙波, 高橋, 仲神, 中島, 深澤, 藤田, 柳原, 山本 (16 名)  
(代理出席委員) 金子悟代理 (日本原燃 / 加藤幹事), 池田整代理 (原子力安全推進協会 / 川上委員), 吉原恒一代理 (原子力安全推進協会 / 新堀委員) (3 名)  
(委員候補) 江頭 (三菱マテリアル株), 西谷 (関西電力株) (2 名)  
(欠席委員) 重入, 平井, 丸岡 (3 名)  
(説明者) [ 臨界安全管理分科会 ] 板原 (日本原燃), 千葉 (日本原燃) (2 名)  
(オブザーバ) 北島 (原子力安全推進協会) (1 名)  
(事務局) 室岡 (1 名)

4. 配付資料

- |              |   |
|--------------|---|
| FTC56-0      | 第 56 回原子燃料サイクル専門部会議事次第  |
| FTC56-1      | 第 55 回原子燃料サイクル専門部会議事録 (案)   |
| FTC56-2-1    | 人事について  |
| FTC56-2-2    | JNES 委員及び規制庁常時参加者について   |
| FTC56-3-1    | 「浅地中トレンチ処分の安全評価手法: 201X (案)」公衆審査結果  |
| FTC56-3-2    | 学会標準「浅地中トレンチ処分の安全評価手法: 201X」の一部誤記などの修正について                                |
| FTC56-4-1    | 「再処理施設の臨界安全管理における燃焼度クレジット適用手順: 201X (案)」書面投票結果                            |
| FTC56-4-1-添付 | 「再処理施設の臨界安全管理における燃焼度クレジット適用手順: 201X (案)」書面投票コメントの注釈                       |
| FTC56-4-2    | 「再処理施設の臨界安全管理における燃焼度クレジット適用手順」原子燃料サイクル専門部会書面投票結果コメント一覧                    |
| FTC56-4-2-別紙 | 「再処理施設の臨界安全管理における燃焼度クレジット適用手順 原子燃料サイクル専門部会 書面投票コメント一覧」コメント 7 及び 8 の対応 (案) |
| FTC56-4-3    | 「再処理施設の臨界安全管理における燃焼度クレジット適用手順: 201X (案)」標準見え消し版                           |
| FTC56-4-4    | 「再処理施設の臨界安全管理における燃焼度クレジット適用手順」(案)の概要                                      |
| FTC56-4-5    | 「再処理施設の臨界安全管理における燃焼度クレジット適用手  |

	順」(案)の制定の背景・目的・スケジュールについて
FTC56-4-6	六ヶ所再処理施設の燃焼度クレジット適用する設備 及び 海外での燃焼度クレジット適用状況について
FTC56-5	標準委員会技術レポートについて
FTC56-6	分科会活動状況報告
FTC56-7	標準委員会及び傘下の委員会等に関する各種取扱いについて(案)

#### 参考資料

FTC56-参考 1 原子燃料サイクル専門部会委員名簿

FTC56-参考 2 標準委員会の活動状況

## 5. 議事内容

### (1) 出席者の確認

開始時, 24名の委員のうち, 代理委員を含む21名の出席があり, 成立に必要な委員数(16名)を満足している旨が事務局から報告された。

### (2) 前回議事録の確認(FTC56-1)

事務局から, 前回議事録(案)について説明があり, 前回議事録(案)は承認された。

### (3) 人事について(FTC56-2-1, FTC56-2-2)

(3) - 1 事務局から, FTC56-2-1に基づき, 専門部会, 分科会の人事について次のとおり紹介が行われた。

#### 1) 専門部会

##### 委員の退任【報告事項】

天野 裕之(三菱マテリアル株)

浦上 学(関西電力株)

##### 新委員の選任【決議事項】

江頭 哲郎(三菱マテリアル株)

西谷 英樹(関西電力株)

##### 委員の再任【承認事項】

小畑 政道(株東芝) 2013.12-2015.11

仲神 元順(中部電力株) 2013.10-2015.9

仙波 毅(原子力安全推進協会) 2013.6-2015.5

##### 常時参加者の登録【承認事項】

澁谷 朝紀(原子力規制庁)

##### 委員の所属変更【報告事項】

河西 基(電力中央研究所から株アサノ大成基礎エンジニアリングへ)

審議の結果、江頭氏、西谷氏の選任が決議され、小畑氏、仲神氏、仙波氏の再任及び澁谷氏の常時参加者登録が承認された。また、河西氏の所属変更については兼務としての所属組織追加であり、本務は電力中央研究所のまま変更なしという本人からの申し出により、この報告事項は削除し、委員数の変更と業種割合も修正することとなった。有富部会長より、重入委員の退任についての報告を受けたことと、新委員の選任については、現在候補者が海外出張中であるため、今後メール審議にて実施することが報告された。

## 2) 分科会

### 委員の退任【報告事項】

#### ・臨界安全管理分科会

丸岡 邦男（(独)原子力安全基盤機構）

### 委員の選任【決議事項】

#### ・臨界安全管理分科会

奥田 泰久（(独)原子力安全基盤機構）

以上 1 名の委員の退任及び 1 名の分科会での選任が報告され、承認された。なお、配布資料には丸岡委員の所属が原子力安全・保安院となっているが、誤記のため、(独)原子力安全基盤機構に修正することとなった。

## (3) - 2 JNES 委員及び規制庁常時参加者について

事務局から FTC56-2-2 に基づき、JNES 委員及び規制庁常時参加者についての状況が説明された。

## (4)【報告・審議】「浅地中トレンチ処分の安全評価手法：201X(案)」公衆審査結果報告 (FTC56-3-1, 3-2)

事務局から資料 FTC56-3-1 に基づき、2013 年 6 月 28 日から 2013 年 8 月 27 日まで実施した「浅地中トレンチ処分の安全評価手法：201X(案)」の公衆審査結果について、意見がなかったことが報告された。続いて、LLW 処分安全評価分科会の山本幹事、吉原委員から資料 FTC56-3-2 に基づき、一部誤記などの修正についての説明があった。主な質疑等は、次のとおりである。

C: この誤記等の修正については、他の安全評価手法標準にも同じ誤記がないかどうか確認し、あれば改定時に修正すること。

A: 考え方は拝承する。ただし、今回の修正については、この標準固有の文脈の誤記修正に限られる。

審議の結果、公衆審査後の今回の修正は編集上の修正であるとして、次回標準委員会へ上げることについて、委員全員の賛成により承認した。

## (5)【報告・審議】「再処理施設の臨界安全管理における燃焼度クレジット適用手順：201X(案)」専門部会書面投票結果報告 (FTC56-4-1, 4-1-添付, 4-2, 4-2-別紙, 4-3, 4-4, 4-5, 4-6)

事務局から資料 FTC56-4-1 に基づき、2013 年 5 月 30 日から 2013 年 6 月 29 日まで実施した原子燃料サイクル専門部会書面投票結果について可決されたことが報告された。続いて、臨界安全管理分科会の板原幹事及び千葉氏（常時参加者候補）から資料 FTC56-4-1-添付、4-2、4-2-別紙、4-3、4-4、4-5、4-6 に基づいて、書面投票時に出されたコメント対応、制定の背景・スケジュール等について報告があった。主な質疑等は、次のとおりである。

Q. 「運用管理」を基本的に「運転管理」に変更しているが、附属書 E (p48)

c)に記載の「運用管理」はどのような理由で「評価」に変更したのか？

回答. c)の前段は評価に関する記載であり、後段も評価に関する記載であるため、評価に変更した。従来はそれらが運用管理に関わることとして「運用管理」という用語を使用していたが、適切な表現として「評価」に変更した。

Q. 「まえがき」の最後から 3 行目の「設計段階における燃焼燃料の核種組成の設定に関わる手順、及び運転管理における・・・」の記載は、初めに「設計段階」と記載すれば、それに対比される後段では、「運転管理」ではなく、「運転段階」とする方が、適切ではないか？

回答. 管理された運転であることが示される「運転管理」を使用したいので、最初の「設計段階」の「段階」を削除し、「設計」に変更する。

Q. 各ページ右上のページ表示に統一されていない部分がある。

回答. 修正する。

審議の結果、今回のコメントを反映させた修正は編集上の修正であるとして、今回の修正案で次回標準委員会へ上げることについて、委員全員の賛成により承認した。

#### (6) 技術レポートについて (FTC56-5)

事務局から資料 FTC56-5 に基づいて、標準委員会技術レポートの作成に関する説明が行われた。

#### (7) 原子燃料サイクル専門部会 分科会活動状況 (FTC56-6)

事務局から資料 FTC56-6 に基づいて各分科会の活動状況が報告された。クリアランスレベル検認分科会の山本副主査より、「クリアランスの判断方法：2005」について改訂の要否を検討中であることが報告された。

#### 6. その他

- ・事務局から、FTC56-7 に基づいて標準委員会及び傘下の委員会等に関する各種取扱いについて報告された。
- ・次回第 57 回原子燃料サイクル専門部会は、11 月 26 日（火）午後で開催することとなった。

以上